

「INS 海洋と社会研究会」

1 目的

近年の漁業における環境は、海水温の変動など大変厳しい状況にあり、三陸地域では養殖による漁獲量を確保する動きが盛んになってきました。

今回は、八戸、釜石における養殖事業の取り組み紹介を行い、今後の養殖事業についての情報交換を行います。

2 日時

令和6年1月26日(金) 14:00~17:00

令和6年1月27日(土) 10:00~12:00(関係者のみ)

3 場所

岩手大学釜石キャンパス(釜石市平田第3地割75-1)

4 内容

1月26日(金) 14:00~17:00

14:00 開会

14:00~14:05 INS 海洋と社会研究会会長挨拶

14:05~15:00 八戸地区より2件

「八戸地域の養殖事業の可能性 ~冷温熱エネルギー供給の観点から~」

八戸工業大学工学部生命環境科学コース・生命環境科学科環境プロセス研究室
高橋 晋 教授

「魚類の卵膜形成について」

八戸工業大学工学部生命環境科学コース・生命環境科学科水族繁殖学研究室
藤田 敏明 教授

15:10~16:10 釜石地区より2件

「釜石はまゆりサクラマスの誕生について」

釜石市産業振興部水産農林課長 小笠原 太 氏

「サーモン養殖研究の取り組みと課題について」

岩手大学三陸水産研究センター 平井 俊朗 センター長・教授

16:15~16:45 釜石キャンパス内視察

16:45~17:00 名刺交換、情報交換など

17:00 閉会

18:00 交流会 ヒカリ食堂(釜石市魚河岸3-3)

*1月27日(土) 10:00~12:00

(有) 泉澤水産 サクラマス、ギンザケ養殖設備見学(悪天候の場合は中止)

(乗船者数に限りがありますので、関係者のみに限定させていただきます)

- 5 **主催** INS 海洋と社会研究会
- 6 **共催** 岩手大学三陸水産研究センター、いわて海洋研究コンソーシアム
- 7 **後援** 釜石市、(公財)釜石・大槌地域産業育成センター
- 8 **参加料** 無料
- 9 **定員** 40名
- 10 **参加申込み**

題名を「INS 海洋と社会研究会参加申込み」として、下記の事項を記入し、Fax または E-mail にてお申し込みください。

①氏名 ②所属 ③電話番号 ④交流会参加の有無

Fax : 0193-36-1610 E-mail : tamurana@iwate-u.ac.jp

- 11 **申し込み締め切り** 1月22日(月)
- 12 **問い合わせ先**

岩手大学釜石キャンパス事務室 産学官連携専門員 田村直司

〒026-0001 岩手県釜石市平田第3地割75-1

TEL : 0193-55-5691

Fax : 0193-36-1610

E-mail : tamurana@iwate-u.ac.jp

令和5年度 釜石水産・海洋研究フォーラム

1 開催日時

令和6年2月29日(木) 13:30~16:30

2 主催・共催・後援

(1) 主催

釜石市、岩手大学三陸水産研究センター

(2) 共催

いわて海洋研究コンソーシアム、さんりく養殖産業化プラットフォーム

(3) 後援

釜石流通団地水産加工業協同組合、(公財)釜石・大槌地域産業育成センター、釜石市漁業協同組合連合会、釜石東部漁業協同組合、釜石湾漁業協同組合、唐丹町漁業協同組合

3 開催場所

釜石情報交流センターPIT(釜石市大町1丁目1-10)

※オンライン併用の開催を予定。

4 講師

【講演者①】

国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産資源研究所 水産資源研究センター
底魚資源部 木所英昭 副部長

「近年の海洋環境やサンマ、イカ、サバなどの回遊魚の資源動向について」

【講演者②】

国立大学法人岩手大学 平井俊朗 教授

【仮題】「釜石地域におけるサクラマス養殖発展に向けた種苗開発」

【講演者③】

北海学園大学 濱田武士 教授

「世界の水産事情と今後の三陸の役割について」

【講演者④】

ヤマキイチ商店

【仮題】「泳ぐホタテの販売戦略、複合経営戦略」

5 申込方法

後日、チラシ等を配布してご案内いたします。

6 問合せ窓口

岩手大学 研究・地域連携部 釜石キャンパス事務室

産学官連携専門員 田村直司

〒026-0001 岩手県釜石市平田第3地割75-1

TEL: 0193-55-5691

Fax: 0193-36-1610

E-mail: [tamurana@iwate-u.ac.jp](mailto:tamura@iwate-u.ac.jp)